____ 1課「新しい一歩」

く行動目標>

初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせしたりすることができる。

<2つのスモールトピック>

ST1「アルバイトを探す」

アルバイトの問い合わせをしたり、面接での簡単なやりとりをしたりすることができる。

ST2「新しい友達」

アルバイト先やサークルで初めて会った人と趣味や日本での生活について 話すことができる。

話してみよう

『できる日本語 初中級』の最初の課である1課のテーマは「新しい一歩」です。

日本での生活に慣れてきた今、自分で「新しい一歩」を踏み出して、新たな人間関係を築き、世界を広げていってほしいと思います。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。初中級では2枚のイラストと1枚の写真になっています。どのイラスト、写真を使うかは学習者に合わせて選んでください。『できる日本語 初中級教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の p. 20 にそれぞれの写真やイラストを用いた場合の質問例があるので、参考にしてみてください。

1課の【話してみよう】のイラストをきっかけにして、アルバイトの経験の有無や職場での歓迎会に参加したことがあるかなど、学習者の経験を聞いてみてください。やり取りの中から、いろいろな話が出てくると思います。【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、ある程度、学習者の興味が引き寄せられていたら、CDを聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。既習の学習項目や語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめると思います。

ST1 アルバイトを探す

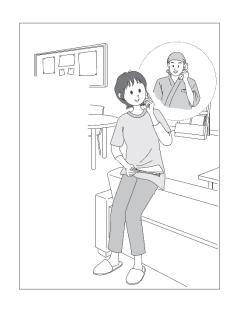
できること:アルバイトの問い合わせをしたり、面接での簡単なやりとりをしたりすることができる。

チャレンジ!

状況イラスト:パクさんはアルバイトを始めたいと思って、アルバイトを探しています。 寮でアルバイト情報誌を見て、電話を かけています。







コマイラスト:パクさんはアルバイト情報誌を見て、電話をかけています。電話に出た人に 店長の山田さんに電話をつないでもらえるように話しています。

【チャレンジ!】では、状況イラストから入っていって、この会話がどのような状況で行われているのかを学習者と一緒にやり取りを通して確認してから、コマイラストに入っていきます。【チャレンジ!】ではこれまでに習った学習項目や語彙を使って、日本語で何と言ったらいいかチャレンジします。

ここでは電話でのやり取りなので、最初に教師が電話の呼び出し音などを口頭で言うと、雰囲気が出やすくなります。またパクさんが手にしている物が「アルバイトの情報誌」であり、それを見ながら電話をしていることがわかるようにしてください。パクさんの吹き出しの「山田さん」は話をしたい相手だということと、初めて電話をするときにどんな言葉で話すかということを、吹き出しの内容を考えながら、学習者に意識してもらうことがポイントです。

学習者にチャレンジしてもらい、CD を聞いて学習者に学習項目に注目してもらったあとでいいのですが、「アルバイトの雑誌を見て電話をしている者ですが、〜」の「者」、「アルバイト希望の方ですね」の「方」を取り上げて、「者」「人」「方」の違いを確認してください。ここで尊敬や謙譲の気持ちが確認できるとこのあとの授業も進めやすくなります。また、ここ L1ST1 [チャレンジ 1] [言ってみよう 1] のやり取りは初級 L13 で学

んだ連体修飾の復習にもなりますので、学習者に意識するように促してください。

学習項目 いらっしゃいます

言ってみよう 別冊1

ここでは AB のやり取りの練習をします。

ここでは、問い合わせをした際に電話をかけたときの簡単なやりとりができたらいいと思い、Bの返答として、「少々お待ちください」「今、出かけています」を載せました。「少々お待ちください」はここではフレーズとして覚えてもらいます。「お+動詞-マス形+ください」は、第9課ST2で学習項目として提出されています。

言ってみよう

本冊1

チャレンジ同様、Aのセリフに連体修飾が使われています。復習を意識して進めてください。例)、①、②は「~ている者」ですが、③、④は「~た者」になっています。もし学習者が言い間違えても、教師がすぐに訂正するのではなく、教室全体で意味を再度考えてみたり、学習者に再度言い直してもらったりするなど、クラスメイトと協力しながら正しい答えにたどり着けるように促してください。

チャレンジ!







コマイラスト: 店長さんの問いかけに対し、パクさんが自分の名前とアルバイトに応募したいことを話しています。店長はパクさんが面接に来られる日を提案しています。

パクさんが初めて「なごみ屋」に電話をかけているということがポイントになります。初めて話す相手に自分のことをどう名乗るか、初級1課ではクラスメイトに「私はパクです」のように自己紹介しましたが、ここではアルバイトの面接をしてもらう相手に話していることに注意を向けてください。

学習項目~と申します

言ってみよう 別冊2

言ってみよう1で練習した「いらっしゃいます」も使って、電話で名乗って話したい相手 を呼び出してもらう練習をします。

言ってみよう 本冊2

ここではアルバイトに応募するときのやり取りの練習をします。最初の A は マークがあるので、学習者に考えて言ってもらうようにしてください。 1 で練習をしたことがヒントになると思います。こ

やり取りは長いですが、「アルバイト希望の意思を伝えて、面接の約束をする」という 流れを頭に入れたら複雑な内容ではないので、口が動くようになったら、教科書はできる だけ見ないで、実際の場面を考えながら会話練習ができるようにすすめてください。 例を学習者と一緒に見ながら、表現の確認などもするようにしてください。「まだアルバイトを募集していますか」の「まだ」や、店長の「~はどうですか」や「それでは」など にも注目してもらって、確認するといいと思います。

ここでは電話のやり取りなので、ペアで練習する際には、お互いの顔を見ないほうがリアルさが増すと思います。

チャレンジ!

3







コマイラスト:面接の時間が午後と言われたパクさんは、午後は都合が悪いことを店長さんに話しています。そして、自分の都合がいい時間帯を伝えて、店長さんと約束をしています。

1つ目のコマイラストで、「午後は授業があるので、午前でもいいですか」と言っています。学習項目は理由の「ので」です。チャレンジやそのあとの板書などで「ので」にフォーカスをあてたあと、「午前でもいいですか」の表現にも注目してもらってください。特に、学習者が「午後は授業がありますから、午前はどうですか」のように、「~はどうですか」を使ってチャレンジした場合は、いい気づきのチャンスです。アルバイトの面接を

してもらう立場なので、「~はどうですか」と提案ができる立場ではないことを確認できるととてもいいと思います。店長さんに午後面接に来てほしいと言われたパクさんが、その時間は授業があるという理由を言って、午前の面接にしてもらえないかと「小さい」交渉をしているところです。 学習項目 ~ので

言ってみよう 別冊3

6個のキューがありますが、これ以外にも、与えられた前件からどんな後件の文が考えられるかといった文作の練習をしたり、複数ある文の前件と後件をつなぎ合わせたりする練習もできると思います。

複文にするとき、前件と後件それぞれの述語の主体が何か(誰か)に注意することが必要です。主体が違うときは、前件の「は」は「が」に変わることを確認してください。例、①、 ⑥がそれに該当します。

言ってみよう 本冊3

やりとりの中に「学校が1時に始まるので、午後は…」といった言いさしの言い方が使われています。初級6課ST1で誘いを断る際に「明日はちょっと…」という言い方を練習していますが、それと同じということが思い出せると、いいと思います。クラスによっては、「…」の部分はどんな言葉が省略されているのかを一緒に確認してもいいかもしれません。

練習をしていると、たまに下のような様子が見られます。例えば、①の練習で店長:明日、面接に来ることができますか。

A : すみません。<u>あさってテストがある</u>ので、!!?? (キューがない!) これは教科書の紙面上のキューしか見ていないことによるものなのですが、ちゃんと相手 の話を聞いて理解していたら、落ち着いて答えられます。

こんなふうに

アルバイトで遅刻の連絡をするときの練習をしてみました。

【アルバイトに遅れる電話をする】4	
A:はい、「なごみ臺」 でございます。 ↔	
B:	4
A:はい、少なわ待ちください。4	
(♪~) ↔	
笛 節:はい、お電話かわりました。 笛節です。 ←	
В :	\leftarrow
田中:はい、わかりました。。↩	
4	
① 区役所に行かなければなりません~	
② 人質事故で電道が止まっています~	
③ *** (本の調学が悪いです ←	
④ ↔	

チャレンジ!

状況イラスト:パクさんは、なごみ屋へアルバイトの 面接に来ました。今、店長さんと話しています。

4





コマイラスト:パクさんは店長さんと話しています。店長さんの質問にパクさんが答えています。

状況イラストでは、店長さんとの面接が始まっていますが、音声ではその前の、店員さんの発話から始まっています。音声や CD-ROM 内にあるスクリプトで会話の内容を確認しておきましょう。授業のとき、イラストにはない部分も学習者と共有できて、学習者を会話

の状況に引き込みやすくなると思います。また、ここでは、アルバイトの面接のためにお店に行ったということに臨場感を出すために、「皆さんがアルバイトの面接を受けにお店へ行きました。そのとき、最初に話すことは何ですか」などと言いながら、進めると、「○時の約束で来ました」や「アルバイトの面接に来ました」、「アルバイトの面接に来

「○時の約束で来ました」や「アルバイトの面接に来ました」、「アルバイトの面接に来 た○○と申します」「○○店長はいらっしゃいますか」などいろいろな発話を学習者から 引き出すことができますし、状況もわかりやすくなると思います。

【チャレンジ!】の際、部屋に入るところから学習者に何と言うかを考えてもらいましょう。 状況イラストを見ながら、部屋に入るときの簡単なやり取りを考えてから、コマイラストの 店長さんとパクさんのやり取りに入っていきます。ここでは、パクさんは面接というフォー マルな場面で店長さんと話していることに意識を向けてください。CDを聞いたとき、違い を発見しやすくなります。

学習項目 いらっしゃいます 参ります

言ってみよう

本冊4

ここでは別冊の練習はないので、すぐに【本冊】の練習に入ります。ここは マークがあるので、自分の名前を使って、自分のことで答えるようにしてください。

チャレンジ!





コマイラスト: 店長がアルバイトの仕事内容に関係がある質問をパクさんにしています。ここでは日本語について質問しています。 パクさんは自分ができることについて答えています。

面接では、店長さんがどんなことをパクさんに聞くかというのを考えながら、【チャレンジ!】を進めていったらいいかと思います。パクさんがうなずいている様子(顔の下の』)に注目するようにしてください。

学習項目 可能動詞

言ってみよう 別冊5

p.229 に表があるので、それを見ながら可能動詞の形を練習します。まずは表を見ながら、どんな変化になるかを学習者と一緒に確認をしましょう。それができたら、口がよく動くように動詞の語彙レベルでの変換練習をします。フラッシュカードの表面に辞書形、裏面には可能動詞を書いておき、カードを見てすぐに言う練習、教師が口頭で辞書形を言い、その可能動詞を言うなどのような練習もできると思います。(キューを出すのを学習者にやってもらってもいいと思います)このような練習方法は、動詞の練習だけではなく、文レベルにも応用することができます。練習2では単文の練習ですが、与えられた文で練習するだけでなく、「日本語」とキューを出して、それに続けて使える可能動詞(話せます)と一緒にいう練習もいいと思います。

練習3では AB でのやり取りの練習をします。ここはペアでインタビュー形式で練習することもできると思います。

こんなふうに

授業では下のようなプリントを用いて、練習をしてみました。

第1課ST1 かのうどうし 可能動詞						
1グル	ーブ u ⇒ eる	2グループ	る⇒られる			
	つか 使える	食べる	た 食べられる			
: ð		寝る		_		
<		見る		_ 5	練習せ	
i č		a 起きる		例)お刺身を食べます↩	
ķ <		借りる			A: お刺身が 食べられ	ますか。↩
な き す		* 着る			✓ ←	<u></u>
t.					B:はい、食べられます。	B:いいえ、 食べられません 。↩
					-5	٠ ١ ١ ١ ١ ١
t		3グループ	 する ⇒ できる		① 日本語で電話をかけます↩	←
[₹] δ			<u>来る ⇒ 来られる</u>	<u>, </u>	② 英語を話します↩	43
à		する		-	③ メニューの日本語を読みます↩	£3
J &		^{うんてん} 運転する			④ 日本語でレストランの予約をします♀	43
: で る		来る			⑤ 道がわからないとき、日本語で聞きます4	₹3
		持って来る			© パソコンで日本語の入力をします↩	43
					⑦ 自転車に乗ります↩	-
					® お酒を飲みます←	£3
					⊚ ₽	۲
				1	® ₽	<□

言ってみよう 本冊5

ここでは、3 ターンの会話で終わっていますが、クラスに合わせて、会話を発展させて、 さらに詳しい話を聞く会話を学習者に考えてもらうのもいいと思います。例えば、

A:Bさんは料理が作れますか。

B:はい、作れます。

に続いて、「どんな料理が作れますか」とか「以前、レストランで働いたことがありますか」など質問を考えて、会話を続けるように促してください。

チャレンジ!

6



コマイラスト: 店長さんがパクさんに料理ができるかどうかについて質問をしています。パクさんは自分ができることをアピールしています。

学習者が「簡単な料理だけできます」などのようにチャレンジしたら、CD を聞く前に、この場面がアルバイトの面接で、できるだけ自分のできることをアピールしたほうがいいのだということを伝えると、学習項目にフォーカスできると思います。

学習項目 ~なら

言ってみよう 本冊6

②で、「週末も働けますか」と聞いています。平日はアルバイトに入ることが前提で、「(人手の足りない) 週末も」ということで、解答例が「週末も」となっています。

やってみよう

ST1の「できること」は、「アルバイトの問い合わせをしたり、面接での簡単なやりとりをしたりすることができる」です。 (1) は「アルバイトの問い合わせ」、 (2) は「アルバイトの面接」での会話を聞きます。答えの確認をするだけではなく、次のロー

ルプレイをする際に、学習者が習った表現などが使えるように、教師が役に立ちそうな表現を取り上げて確認をするようにしてください。例えば、1の会話「ミラさんはどうやってこのアルバイトの募集を知りましたか」2では、店長さんがホセさんに日本でのアルバイトの経験を聞いたとき、どんな日本語で質問していたかなどを確認できると、学習者はロールプレイで、このスモールトピックで新しく習ったことだけではなく、既習の表現も意識して積極的に使って会話をすることができるようになっていきます。

■ 授業では、スーパー「あさひ」と弁当屋「ほっと弁当」のチラシを拡大して、全体に見えるようにしながら、仕事の内容や条件などをクラス全体で確認していきます。その際、店長ならどんな質問をするかなどを、学習者と話しながらチラシを見ていくといいと思います。そのあとで、ペアになり、役割を決めて、どちらかの店長として質問文を準備します。「アルバイトをしたことがありますか」とか「今、学生さんですか」、「どこに住んでいますか」、「家からどのくらいですか」など一般的な質問のほかに、「料理ができますか」「土日も働けますか」「日本語の野菜の名前がわかりますか」など、その店の仕事内容や条件に合わせた質問も準備しておくように促します。店長として面接で聞くことが準備できたら、ロールプレイをスタートします。ロールプレイは、面接の問い合わせから始めます。

ペア練習が終わったら、全体で発表してもらいましょう。発表後に、「〇〇店長、〇〇さんは面接に合格ですか」などと聞いてみるのもいいですね。この【やってみよう】のあとで、「合格したので、新しいアルバイトが始まりました」と言いながら、ST2に移っていくといいと思います。

教科書にあるこのチラシでなくてもいいです。実際の情報を教材として少しやさしい日本語に直してチラシにして【やってみよう】をするのもいいと思います。もちろん、生の教材を使ってもいいですが、この段階では、そのまま使用することはまだ難しいので、少しやさしい日本語に書き直すなど工夫があるといいと思います。

こんなふうに

店長役をする人には、 このような「店長カード」に 面接の日や聞きたいことなどを 書き込んで、面接をするように してみました。

^{でんちょう} 店 長 カード↩		
^{めんせっ} 面接の日↩	43	
	• ↓	
	• ↓	
明まま ハー しゅ	• ↓	
聞きたいこと↩	• ↓	
	• ↓	
	• 4	
・ 持って来る物↩	¢3	

ST2 新しい友達

できること:アルバイト先やサークルで初めて会った人と趣味や日本での生活 について話すことができる。

チャレンジ!

状況イラスト:

パクさんはなごみ屋でアルバイトを始めました。閉店後、 閉店後、掃除をしているとき、

店の先輩、山本さんが話しかけてきました。



1-1



コマイラスト: 山本さんがパクさんに趣味を聞いています。パクさんは自分の趣味について話しています。そして、山本さんにも趣味を聞いています。

「趣味は何ですか」と聞かれて、「趣味は○○です。~~~のが好きです」と、趣味について少し詳しく説明しています。

1枚目のコマイラストのパクさんの吹き出しの左(映写機のイラスト)を指さして、学習者が「映画です」と言ったら、すぐに「映画を…」と次の発話を促しながら、吹き出し内のイラストの中でパクさんが映画を見ていることに注目してもらいます。そうすると、学習者は「映画を見ることです」などと初級の学習項目を使って、チャレンジすると思います。2枚目のコマイラストも発話してもらったら、1枚目のコマイラストに戻り、「映画です」のあとの2文目に何を言ったらもっといいかについて、注目してもらってから、CDを聞きます。

学習項目 ~のがA

言ってみよう 別冊1

①~⑧以外にも、「のが」の前を学習者に自分で考えてもらい、口頭での単文練習をしてください。また、「好き嫌い得意苦手遅い速い」の形容詞だけ板書しておいて、

「映画を見ます」とか「料理を作ります」などのキューを口頭で出して学生に文を作って もらう練習もできると思います。

言ってみよう 本冊 1-1

自分の趣味を言う練習は、初級 9 課 ST1 でしていますが、ここではもう少し詳しく話す練習をします。ここでは、キューがイラストで示されています。練習の前に、イラストを見ながら、クラスで一緒にどんな日本語で言うことができるかを一緒に考えるといいと思います。例えば、①では、



学習者が「山に登ることです。写真を撮るのが好きです」と言ったら、教師はどんな写真を撮るのが好きかということを問いかけながらイラストの鳥や花の部分を指し示したり、写真を撮っているのはどこかなども聞いたりしてください。

クラスに合わせて、ABAのやり取りで終わらず、Bの答えを聞いたAが「そうですか」の続きにどんな質問ができるか、なども考え、長い会話を考えて会話を続けるように促してください。

チャレンジ!

1-2



コマイラスト: 先輩の山本さんが、外国生活を送るパクさんに日本の生活に慣れたか聞いています。パクさんは生活には慣れたけれど、苦手なことがあることを話しています。

山本さんの吹き出しの中は「日本の生活」と書いてあります。【チャレンジ!】の際、教師はこの吹き出しを指し示すだけではなく、山本さんがパクさんに日本の生活に慣れたかどうかを聞いているということを学習者に問いかけをしながら、引き出していってくださ

い。

学習項目 ~のがA

言ってみよう 本冊 1-2

ペアでの口頭練習の前に、全体で①~③それぞれの2枚目のイラストが何を指しているのか、どう言ったらいいか確認するとスムーズに練習できます。例えば、①の「掃除が苦手なので、」の後ろに来る文として、「私の部屋はきれいじゃありません」や「部屋にゴミがたくさん落ちています」、「部屋が汚いです」など学習者からいろいろな表現が出てくるといいと思います。

チャレンジ!

2





コマイラスト:山本さんはパクさんに高尾山を知っているか聞いています。どんな山かを紹介して、パクさんを誘っています。

2コマ目のコマイラストにある山本さんの2つ目の吹き出しでは、どこで何をしているのかがわかるように教師が問いかけていき、また、そのとき、どんな気持ちかというのが学習者から出てくるといいと思います。

学習項目 ~のはA

言ってみよう 別冊2

ここでは文字でキューが示されていますが、練習のバリエーションとしては、前件の日本語をイラストで示して、それについてどう思うか自分で形容詞を選択して答えたり、後件の形容詞を出して、「~のは楽しいです」の「~」の部分を考えたりするなどが考えられます。

言ってみよう 本冊 2

初級 6 課 ST1 で誘う練習をしましたが、ここでは相手に対して、誘う内容についてその楽しさやよさをアピールする会話を練習します。一人で二文を言うので、少し長いですが、学習者は言えることで自分の日本語の進歩を実感できると思います。

チャレンジ!

3

状況イラスト:

鈴木さんは最近、新しく入ったアルバイトのロッシさんに 声をかけています。







コマイラスト:鈴木さんは最近なごみ屋に入ったアルバイトのロハンさんに声をかけています。ロハンさんは自分の日本語について話しています。

【チャレンジ!】では、コマイラストの「▶」に注目をするようにしてください。L10ST3 のチャレンジ 3 のコマイラストにも同じマークがあります。時間の経過や変化を表しています。CD を聞くときには、教師が台詞に沿って、イラストを指で指していくと、その変化を言っているということに学習者が気づけると思います。

学習項目 Vるようになります(能力の変化)

言ってみよう

別冊3

ST1 で可能動詞が提出されていますが、まだ口が慣れていない学習者がいるかもしれません。クラスに合わせて、可能動詞の復習も入れてください。③の「わかる」は可能動詞はないので、学習者に注意を促してください。

練習2では、「Vるようになります」と「たいです」を一緒に用いて、自分がこれからできるようになりたいことを言う練習です。ぜひ、学習者がどんな目標を持っているのか、聞

いてみて、自分のことで言ってみてもらってください。

言ってみよう 本冊 3

Bの部分が少し長いですが、初級 11 課 ST1 で練習した「~は~が、~は~」が使われています。「日本へ来たとき」と「今」を比べて、できるようになったことについて話しているということを意識して発話できたら、長くても文字を追うのではなく、自分で考えながら発話しやすくなると思います。このやり取りの通りでなくても、それぞれの学習者に来日時と今の変化があると思うので、どんな変化があったか聞いてみてください。

やってみよう

ST2 のできることは「アルバイト先やサークルなど初めて会った人と趣味や日本での生活について話すことができる」です。CD を聞く前に、初めて会った人とどんなことを話すか、自己紹介を思い出しながら、学習者に話題をあげてもらってください。きっと聴解部分の□内にあるような話題があがると思います。全部があがらなくても、追加する形で□内の話題をチェックしてから、CDを聞くとスムーズに進められると思います。

CDを聞いたあとで、どんなことについて話していたかを a~f の中から選びますが、その際、ただ答えを言って終わりではなく、どんな日本語が使われていたかなども学習者に聞いてみてください。質問の仕方を確認することで、学習者がタスクで話す際に、参考にできると思います。

■ ペアで話します。このとき、相手の話に興味を持って、たくさん質問をして会話を続けるように促してください。話を聞くときには、相槌やフィラーなども使ったりするように促してください。いろいろな日本語が使えるようになって、学習者同士で楽しく話している様子が見られます。

こんなふうに

クラスメイトのことをどのぐらい知っているか、「インタビュー」 をしてみました。

☆ 3ヵ月、宀緒に勉強したク	ラスメートをどのぐらい知っていますか。↩
\leftarrow	
インタビューした人:	きん↩
Ł	
日本の生活に憧れましたか?4	<□
4	
43	
好きなこと・もの4	4
the state of the s	<□
4	
休みの日によくすること↩	4
4	<□
4	
日本語でやりたいこと↓	4
(日本語を使ってしたいことなど)↩	₽
H	H
4	₽
€3	
ė.	
	話を聞いた人:

できる!

この課の行動目標は、「初めて会った人に丁寧に自己紹介をしたり、印象よく問い合わせしたりすることができる」です。

もし、この『できる日本語 初中級』1課からクラスに新しいクラスメイトがいたら、この機会を利用してお互いを知って友達になるといいと思います。実際、【できる!】を通して、お互いのことを知ることができたとう実践例もあります。

【できる!】例

- ・新しいクラスメイトについてよく知る。
- ・ビジターセッションで初めて会った大学生と友達になる。
- ・イベントに参加して新しい人と知り合い、イベントでの様子を授業で報告する (イベントは教師が紹介したり学習者と一緒に調べたりします)。

話読聞書

「自己紹介」をします。初級の「自己紹介」に比べたら、長さも内容もずっとレベルアップしています。右端にある吹き出しを参考にしながら、学習者に問いかけていってみてください。趣味の話もたくさんできると思います。そして、これから新しく友達になりたい人に何か自分からアピールできることが付け加えられたらいいと思います。

「自己紹介」をしたあとに、それを書いてクラスメイト同士でコメントを書き合うという 活動にも広げたという実践例もあります。

初中級では、[話読聞書] に新たにやり取りの音声が加わりました。どんなやり取りになるかを聞いてみて、自分が話すときの参考にできると思います。1 課はみんなの前で自己紹介しているという状況なので、聞いている人は「へえ」などのあいづちを打っています。